

## <第4議案>

### 2022年度収支予算（案）

14 ページに 2022 年度収支予算案を示す。

#### <全体説明>

2022 年度は、常勤スタッフ 2 人体制を維持する予算とした。単年度収支での大きな赤字を減らすことに留意して、収入増と費用削減を目指す予算とした。

#### 1 収益の部

##### 1.1 会費収入

21 年度決算（423 万円）に比して 27 万円の増額となる 450 万円を目標とする。

##### 1.2 事業収入

事業収入は 21 年度決算比約 37 万円の増額を見込む。

- 『ピース・アルманаック 2022』の販売収入は 150 万円を見込む。
- 「情報サービス・調査受託」収入として、21 年度決算と同じ 145 万円を見込む。

##### 1.3 寄付金収入

一般寄付金は夏季、冬季を含めて 60 万円を目標に設定する。海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は 30 万円を見込む。

##### 1.4 助成金収入

「よこはま夢ファンド」への助成金申請（財源は同ファンドへの市民からの寄付金）によって 330 万円を確保することを目指す。また 3 年間にわたり助成を受けたアユス仏教国際協力ネットワークの「NGO 組織強化支援事業」は今年で切れるが、2021 年度残り分 30 万円の支援金を受けることで、助成金として計 360 万円を見込む。

##### 1.5 その他収入

スタッフ 1 人分の給与の一部として、次世代基金から 60 万円を拠出する。

#### 2 費用の部

##### 2.1 事業費

21 年度決算比、給与約 45 万円減、協力研究員をとらないこと等により約 80 万円の減額を見込む。

- 『アルманаック』経費は印刷代として 125 万円とする。
- 海外派遣経費は、8 月の第 10 回 NPT 再検討会議（ニューヨーク）への計 40 万円を見込む。
- 「事業委託費」は、米軍関連の調査謝金（年約 15 万円）に当てる。
- 「事務委託費」として会計業務に 40 万円を当てる。
- 「事務所引越費」として 20 万円を計上する。

##### 2.2 管理費

- 常勤スタッフ 2 人体制とし、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込む。
- その他費用は 21 年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

#### <次世代基金>

- 「米軍情報管理」臨時雇用費、及び「脱軍備・平和基礎講座」費用を予算化した。また通常会計のスタッフ給与の一部として 60 万円を拠出する。

－以上